



埼玉スタジアム 2002 サッカースクール 新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン (第8版)

サッカーのメッカ「埼玉県」において with コロナの時代でも安全に継続的に実施する
為には、スクール生並びにご家族の皆様のご理解ご協力が必要です。**当ガイドラインを
了承した上で、スクールに参加することをお約束ください。**よろしくお願いたします。

当ガイドラインは、下記の項目で表記しております。

1. 施設の対策
2. 定義確認
3. コーチ、スタッフの対策
4. スクール生にお守り頂く事
5. 最後に

1. 施設の対策

新型コロナウイルス感染拡大予防対策として、下記の対応をいたします。

- 受付 → アルコール消毒液の設置
- トイレ → アルコール消毒液の設置、待機時立ち位置マーク
※トイレ後はアルコール消毒を実施します。
- 貸出備品 → スクイズボトル、クーラーボックスの共有をしない。
- 更衣室 → 通常使用を再開
- 室内練習場 → 通常使用を再開
- チームベンチ → 通常使用を再開 ※隣との距離確保を徹底します。
- 人数制限 → 通常定員数で実施
但し、プレー時以外は隣人との距離をできるだけ2m確保します。
- 備品整備 → 非接触型体温計、拡声器、電子笛を用意
- 観客席 → 密集・密接を避け、触れ合わない距離での間隔の確保をお願い
します。

2. 定義確認

濃厚接触者…陽性者の感染可能期間内※に陽性者と接触した者のうち、次の範囲に該当する方。

※感染可能期間内…発症日の2日前から、診断後に隔離開始されるまでの間

- ・患者と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等）があった方
- ・手で触れることのできる距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策無しで、患者（確定例）と15分以上の接触があった方
- ・適切な感染防護無しに患者を診察、看護もしくは介護していた方
- ・患者の気道分泌物もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い方

※国立感染症研究所「新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領」より

緊急性の高いリスク…熱中症や雷・地震・竜巻などのリスクに優先的に対応しつつ、避難に際しては、ソーシャルディスタンス確保や飛沫防止の会話禁止など、状況を見ながら可能な限り新型コロナウイルス感染予防対策を行います。

3. コーチ、スタッフの対策

コーチ及びスタッフは下記の対策を実施します。

- ・ 当日に平熱を超える発熱がある者(概ね 37.5°以上)は参加しない。
- ・ 実施前 7日間に以下の事項に該当していないことを確認しております。
 - (ア) 平熱を超える発熱
 - (イ) 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - (ウ) だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - (エ) 嗅覚や味覚の異常
 - (オ) 体が重く感じる、疲れやすい等
- 実施前 5日間に以下の事項に該当していないことを確認しております。
 - (カ) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触※
 - ※当該陽性者との最終接触等から所定の日における抗原定性検査キットを用いた検査で陰性を確認することで当該事項の確認とすることも考えられます。
 - (キ) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- 政府が定める所定期間内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触が無い。
 - ・ マスクを装着してスクールを行います。（自身からの飛沫防止の観点）
人との距離（2m以上を目安）を確保できる場合はマスクを外すことができます。
 - ・ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施します。
 - ・ スクール生との距離（できるだけ2m以上）を確保します（介助・救助を除く）
 - ・ 新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、スクール責任者に対して速やかに報告いたします。
 - ・ 濃厚接触（定義確認参照）環境をつくりません。
 - ・ 「濃厚接触者」に認定された場合、PCR検査の結果「陽性」と判定された場合、同居する親族が同様の状況になった場合、上記ガイドラインに則って対応いたします。
また陽性者が感染可能期間にスクールへ参加していた場合は、状況についてスクール生への周知を行います。

トレーニング前において

- ・ 第4グラウンド南側の出入口をご利用ください。
- ・ 入口にて、非接触型体温計にて体温の計測を実施します。
- ・ 入場の際はアルコール消毒を実施します。

トレーニング中において

- ・ 広いピッチ環境を活かし、密集しない環境作りを心掛け実施します。
- ・ 集合・並び方などで密集・密接をしないようにします。
- ・ トイレ後はアルコール消毒を実施します。

トレーニング後において

- ・ 密集・密接を避ける為、速やかにクラスを解散します。
- ・ 帰宅前のアルコール消毒を実施します。
- ・ 速やかに帰宅できるよう、スクール生の促しを徹底します。

4. スクール生にお守りいただく事

持ち物 ※コロナウイルス感染防止対策の一環となります

- ・ 水筒（中身は水のみ）…忘れた場合は自動販売機でご購入ください。
補給用の水タンクはご用意しておりませんので、大きめの水筒をご持参ください。
- ・ タオル…洗顔、手洗いの後に利用します。
- ・ マスク…熱中症防止の観点から、トレーニング中は外して行います。
トレーニング前後につきましては個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人（ご家庭）の判断に委ねることを基本とします。

参加の条件

以下の事項に該当する場合並びに対応できない場合は、自主的に利用を見合わせる事と、ご承知おきください。

- ・ 参加当日に平熱を超える発熱がある方(概ね 37.5°)は参加しない。
- ・ 参加前 7 日間に以下の事項に該当していないことをご確認ください。
 - (ア) 平熱を超える発熱
 - (イ) 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - (ウ) だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - (エ) 嗅覚や味覚の異常
 - (オ) 体が重く感じる、疲れやすい等
- ・ 参加前 5 日間に以下の事項に該当していないことをご確認ください。
 - (カ) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある
 - (キ) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- ・ 政府が定める所定期間内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触があった場合。
- ・ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ・ 他のスクール生、コーチスタッフ等と触れ合わない距離での間隔の確保を心がけること。
（誘導や介助を行う場合を除く）
- ・ 感染防止のために施設管理者が決めたその他の措置の遵守、施設管理者の指示に従うこと。
- ・ 参加後7日間に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、スクール責任者に対して速やかにご報告ください。
- ・ 「濃厚接触者」に認定された場合、PCR検査の結果「陽性」と判定された場合、同居する親族が同様の状況になった場合、上記ガイドラインに則って対応いたします。
また陽性者が感染可能期間にスクールへ参加されていた場合は、状況についてスクール生への周知を行います。

トレーニング中において

新しい生活様式におけるサッカーとご理解いただき、実践ください。

- ・ 大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ・ コーチ、スタッフ、他のスクール生と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する。
- ・ ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない。
- ・ 口に含んだ水を吐かない。
- ・ タオル・ボトル・クーラーボックスを共有しない。
- ・ トレーニング後、アルコールで手指消毒を行い帰宅する。

なお、上記事項が遵守されておらず感染拡大の危険がある等見受けられる場合は、スクールの途中であってもスクール責任者の判断でお断りする場合があります。

ご不便をお掛けしますが、ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

本ガイドラインは、現時点での

- ・ スポーツ庁「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」
- ・ (公財)日本サッカー協会「サッカー活動の再開に向けたガイドライン」
- ・ 埼玉県「新型コロナウイルス感染症総合サイト」

に基づき作成しております。今後これらが改訂された場合には本ガイドラインに付きましても見直すことがあり得ることをご承知おきください。

5. 最後に

国や県の方針、学校の状況など様々な点を考慮し、感染対策をより徹底することでスクールを実施しております。スクールの実施は、スクール生の心と身体の健康保持の意味でも必要なことと認識しております。しかしながら、新型コロナウイルスが収まった訳ではございません。今後も細心の注意を払いスクールを運営してまいります。スクール生ならびに保護者の皆様のご協力も重要と考えております。共に乗り越えていけるよう、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

埼玉スタジアム 2002 サッカースクール
事務局長 中田 泰祐